

AO・HANI

Social Welfare Organization Since 1991 Nara City Japan

2011 July 65号

あおはにのイベント
クラフト展
グリーンフェスタ

青葉仁会に
営業部ができました
自然学校通信



生活支援部より
「カヌー体験&アウトドアクッキング」を実施して

地域便り

連載コラム:支援スタッフの声

理事長メッセージ:皆さまお元気ですか

新規オープン:デリカテッセンイーハトーヴSora

クラフト展

今年も6月17、18、19日イトーヨーカドー奈良店4F催事場スペースを借りきつて、手しごとアート展と題しての作品発表会を行いました。ご家族の皆様や、ボランティアの方々、関係機関の方々には多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。

青葉仁会の利用者さんが日々どのような活動を行っているのか、生産されている商品や様々な舞台イベントを通して知っていただくよい機会となりました。また被災地の施設で作られている製品が販売に困っておられることをきいて、応援販売コーナーを設けました。

今回のイベントを通して強く感じたことは般の方々も多数来場され、その関心の高さには驚かされることも、関係者だけではなく広く知っていただくことの重要性を痛感いたしました。そのためにもこういったイベントを続けていくことが肝要です。

また利用者さんもクラフト展に向けて商品や作品の生産に取り組んでいく中で、その姿には責任感が感じられ、やはり任されることによって成長していくし、やりがいや生きがいにも繋がっていくのだと改めて感じました。



グリーンフェスタ

6月4日(土)



場所：自転車道の駅
ハーブクラブ

6月4日に自転車道の駅ハーブクラブにて、グリーンフェスタを開催しました。前半のサイクルイベントでは、元F1レーサーで登山家の片山右京氏とともに、参加サイクリストが、大和高原を爽快に駆け抜きました。

後半のイベントは、片山右京さんによるトークショーが行われました。1日だけクルマでなく自転車に乗ることで節約されるガソリンの話などがされ、ひとりひとりのちよとした行動が環境保護につながっているのだと気づかされました。

天気にも恵まれた1日に、あおはにカレー、チャイなどを販売した模擬店にも多くの人が訪れて、賑わい、グリーンフェスタは盛会のうちに終了しました。

セントラル

デリカテッセンイーハトーヴでは、今年度4月より新たな福祉事業と、生産活動を開始することになりました。福祉事業では現行の就労移行支援事業、就労継続支援B型に加えて、新規事業として就労継続支援A型をスタートしています。生産活動では惣菜、仕出し製造を新たな厨房で開始したことに加え、カフェ部門として「デリカテッセンイーハトーヴソーラ」がオープンしました。「デリカテッセンイーハトーヴソーラ」は帝塚山地域の中央に位置し、地域と密着し、地域の方々の役に立て



る場となるよう目指していくとともに、障がいのある方々の就労や訓練の場として機能していきます。営業内容はコーヒー、紅茶やサンドイッチなどを提供するカフェと、フレンチ惣菜や和総菜の販売、全国のこだわり食品の販売などを行っています。

私も働くことを通じた支援を大切にしてまいりました。養護学校を卒業してすぐの方何らかの理由で仕事を辞めた方達が、就労訓練を続ける中でいつの間にか大人っぽくなり、また、自信に満ちた姿になっていく様子を何度も目の当たりにしました。イーハトーヴで仕事をすることによって責任感や使命感を感じ、自分には役割がある、自分が必要とされているという思いが人を成長させているのだと思います。

デリカテッセンイーハトーヴは新たなスタートラインに立ちました。今後も障がいのある方々の就労支援の場として、また、地域や社会の役に立てる場となるよう努力して参ります。

木工

「作業参観日」



昨年の秋から毎月1回のペースで始めた作業参観日。あれから約半年。何よりもまず、働きやすい環境作りを心がけて、先月よりも今月。今月よりも来月と改善に取り組んでまいりました。その間、お忙しい中時間を割いて日笠に足を運んでくださった皆様には大変感謝しております。また参観日は、ご家族との交流の場として、色々な意見やアドバイスを

頂く中で、お一人おひとりが、本当に青葉仁会のこと、日笠ワークスのこと、そして何よりもお客様の将来のことを真剣に考えておられるということが、ひしひしと伝わってまいりました。そんな中で開催した日笠の花壇作りは、多くの方に参加いただき、自宅からスコップや軍手持参で参加していただいたり、お花をご持参いただいたりと、親子でわきあいあいと花壇作りをすることができました。今では毎朝、自分たちで作った花壇を利用者の方と一緒に交代で水をやり、大切に育てています。参観日を設けて以来、参観日以外に日笠ワークスを覗いていただいたり、雑巾を寄付していただいたりと、交流を深めさせていただいています。

ハーブクラブ



4月よりハーブクラブスタッフ・利用者のユニフォームがリニューアルしました。
清潔感がでるよう白いシャツを着用、バンダナからキャップに替え統一感が出るようにしました。ユニフォームを替えたことにより利用者さんのモチベーションも高まり、さらに帰属意識もより高まり仲間との連帯性、協調性も生まれています。常連のお客様からも好評を得ています。久しぶりに来店されたお客様からは、「来るたびに皆の成長が感じられて日毎に良くなっているよ!」と、一言。レストランでは自然とお客様と接する機会が多くなり、老若男女問わず色々なお客様に足を運んでいただいていたのは沢山の貴重なご意見・ご感想を頂きます。これからも気軽に声をかけて頂いて皆様から愛されるハーブクラブであり続けていきたいと思っております。

また、繁忙期にあたるGWには、より一層皆が協力しあってお客様を迎えました。一人ひとりが役割をもって取り組み頑張りました。おかげさまで前年と同様にたくさんのお客様が賑わいがありました。GW期間中頑張つて出勤した利用者さんには表彰をして副賞としてハーブクラブで利用可能なドリンク券を渡しています。それを目標に頑張つて働いている利用者さんもあります。

製菓

製菓班では新商品を紹介します。
まずはマドレーヌ。とてもシンプルな配合で作りましたがふんわりくちどけの良いお菓자에仕上がっています。四葉バター風味も良くわざわざマドレーヌだけを買いに来られるお客様もおられます。



ふんわり
マドレーヌ



しあわせ気分
ワッフル

また、ワッフルも販売しはじめました。国産小麦粉、地元産有精卵を使つており、一口食べるととても幸せな気分になる味になっております。食べる前にオーブントースターなどで温めなおしていただくとういしくなりますのでぜひご賞味ください。

新作も配合の表示や手順をわかりやすく示してすべて利用者さんの力で作っています。新しいことに挑戦することは大変なことが多いですがそれ以上に楽しいお菓子を作りたいという気持ちをもった利用者さんが一生懸命作っています。つづき製菓班の職人たちが作った新作のお菓子をぜひご賞味いただき、ご感想をいただけたらと思っております。

製パン

製パン班は奈良市内を中心に販売先が増え、ハーブクラブ以外でもおはにの米粉パンを買うことができるようになりました。配達時間があるため、午前中は時間との勝負です。利用者さん、スタッフともに協力してパンを焼き上げ、つづき包装しております。

また、米粉のフランスパン、菓子パン、惣菜パン、デーツシユ、クロワッサンやパイなどに加え野菜やお茶を練り込んだパンなどバラエティーに富んでおります。いろいろな種類のパンでも利用者さんが柔軟に対応できて、ほぼ欠動することなく毎日頑張っております。

日々の業務に加えイベントや特注などが入るなど状況が変化するため個々の責任が増えますが、作業を通じて達成感を味わってもらい楽しんで取り組めるようスタッフ一同支援していきます。

新作



オレンジチョコデニッシュ
¥150(税抜き)



めんたいポテト
¥180(税抜き)



きりかぶ
¥120(税抜き)



『青葉仁会に営業部が出来ました』



西奈良事業所が本年度中に開業する予定です。この中心になる製パン部門が本格的に稼働すると飛躍的に生産量が増えます。

また、四月にオープンしたデリカテッセンイーハトーヴの1階部分の充実などをはじめ青葉仁会の各事業所の生産は大きく伸びてくる予定です。それらの商品を常に安定した販売をするよう営業部が出来ました。

現在営業部は奈良市内でのパンのデリバリーが中心です。

まだ営業部も出来たてです。今後生産が上がってくることを考えて地方各地に販売拠点を構築してゆきます。

販売拠点は直営店では無く、青葉仁会の商品を販売していただける協力店(フレンドショップ)を各都市にお願いして行きます。

奈良以外に大阪、京都、三重などから広げて中部、関東、東北、北海道、中国、四国、九州など遠隔地にも広げてコンスタントな注文が入るシステムを作って行きます。

そのために、協力店にもアオハニ製品を販売して利益を得られるようにしてゆきます。福祉施設をつくる商品だから完成度が低いとか、納期が遅いとか、数が揃わないとか、製品にむらがあるとか、価格が高いなどは許されませんので営業部としては生産部署との連携を密にして頑張ります。

今フレンドショップ(仮称)販売拠点システムを構築して売り込みをはかっています。

青葉仁会にとっては初めてのことで軌道に乗るには多くの困難があると思いますので次のような皆様のご協力をぜひお願いします。

- 一、青葉仁会フレンドショップの正式名称を考えています
- 二、フレンドショップへの参加(販売)
- 三、参加していただけたような店や人の紹介
- 四、新しく発足した営業部へのアドバイス

などご意見を営業部までお願いします。

青葉仁会 営業部部長 中村重行

自然学校通信

『黒米の田植え』



5月16日(月)五月晴れの下、あおはに自然学校班としては3度目となる黒米の田植えを農家の方と協力して行いました。田植えをするまでに冬のみぞ掃除、水路の整備、草刈をみんな黙々と頑張つてきて今日が晴の舞台となります。

利用者さんの脳裏には田植え＝泥遊びという去年の田植え前の泥んこ遊びの強烈なインパクトがあり、ある者はワクワク、もつ方は汚れるから嫌など利用者さんの表情から様々な思いが汲み取れました。

事前に代掻きを済ませておいた田んぼに田植え機が入り規則正しく植えていきます。2反と広大な為、一枚の田んぼを自分達で手植えして行きます。

去年の反省を活かし、今年は釣り用のウエーダーを履いて調子よく植えていきます。案の定足が抜けなくなったり、泥まみれになったりと面白おかしい田植えでしたが、今回もまた利用者さんにとって良い経験となったと感じています。収穫は10月皆さん是非ご賞味ください!!



生活支援部
土谷 文人



と「クスッ」ときますよね。

「大運動会」では、あおはにと萌でチーム戦で玉入れや小舎対抗レースを行いました。どちらでも譲らぬ激戦で、まさかのスタツフ乱入！各プログラム1回では終わらず何度も何度も挑戦していました。皆さん自分のチームが勝つと応援席から歓声があがり互いに真剣に競い合っていました。特に小舎対抗リレーはバトンタツチする場所が重要、皆で作戦会議！。白熱した対決の中、気づけばもう終わりの時間。「もっと参加したかったなあ・・・」と皆少し残念そう。でも力一杯頑張ったね！。また来年チャレンジしよう！

GW真っ盛りの5月4日から5日までの間に特別余暇を行いました。毎年恒例になりました青葉仁会の厨房を担当しているティスティブルさんの「バーベキュー」以外にも「田原グラウンドで大運動会」と、オリジナルのイベントを開催しました。

「バーベキュー大会」には沢山の方が参加され、普段の食事とはまた違った環境のためか、いつも以上に皆さん会話が咲いていました。お肉や焼きそば、おにぎり・ジュースと食べきれないくらいの食材が並びました。っと思ったらいつのまにか、バーベキューを焼いている付近には途切れぬおかわりの行列があるではありませんか。これにはティステイバルさんやスタツフもビックリです。みんながおいしく食べている傍ら、スタツフは大忙し。一部の人は煙に巻かれながらおかわりに奮闘していました。ちよつ



この2日間は幸い天候にも恵まれ、快晴でした。GWが終わったときにはみなさんすっかり日焼けをされ、「楽しかったで!」「またやりたいなあー」と嬉しい声を沢山いただきました。今後も連休には楽しいイベントを行っていきたいと思いますので、みなさま是非乞うご期待ください!!

GW イベント

『カヌー体験&アウトドアアクッキング』を実施して

生活支援部
片山 恵美



5月の爽やかな風が吹く中、毎年のGW恒例イベントである「カヌー体験&アウトドアアクッキング」に、生活支援部スタッフとして参加させていただきました。私自身このイベントへの参加が初めてであり、またカヌー初体験ということ

もあって、利用者の方々とともにとても楽しみにしていた企画です。午前中は力ヌー体験と調理班に分かれました。昼食はオープンサンドと、アウトドアクッキングの定番「ダッチオーブン」でつくるビーフシチューです。利用者の皆さんも生懸命野菜の皮むきを手伝って下さいました。私よりもはるかに慣れた手つきで包丁を扱う女性利用者さんを見ながら「もつと花嫁修行をしなければ……」と静かに反省するのもつかの間、野菜や肉を炒めグツグツと煮ている間にあつという間にビーフシチューができました。湖を眺めながらの食事は本当に美味しく、利用者さんからも「おいしい!」と大満足の声がたくさん聞こえてきました。午後からはグループごとに交代で力ヌー体験でした。毎年参加されている方はさすが慣れた様子で湖をスイスイ進んでいかれます。最初は力ヌーに乗るのを怖がって拒む方もおられました。が、勇気を出していざ乗ってみると、ゆるゆらと湖の上で揺れるスリルも味わいながら大はしゃぎ。岸に戻った時には「めっちゃ乗れた!」と満面の笑みでした。私も利用者さんと一緒に自然の中で普段はなかなか体験できないことを楽しみ、利用者さんのいろいろな表情も発見することができました。本当に思い出に残る一日となりました。

『スタッフコンサート』を開催して

今年もGW余暇企画として「スタツフコンサート」を開催させていただきました。ギター、クラリネット、ホルン、オカリナ、ケーナといった内容で、演奏が始まると音楽に合わせて左右に身体を振り、手を叩いてジャンプされている利用者さんもお大勢おられ大盛況でした。当日は、あいにくのお天気でしたが、銀河ステーションのカートンを締め切り、スポットライトだけでの雰囲気は、野外で行う時とは違ったとても臨場感あふれるステージになりました。



福西 祐介

さくらホームからSORAへ

青葉仁会の地域支援部では

- ①相談事業 ②グループホーム・ケアホーム ③居宅介護・行動援護・移動支援
 - ④職場適応訓練(ジョブコーチ) ⑤奈良市つどいの広場(奈良市委託事業)
- をおこなっています。

奈良市内の西奈良地区に障害者福祉の拠点が不足している・

の声を受け青葉仁会でも帝塚山にデリカテッセンイーハトーヴ等を開設してきましたが、それに伴い青葉仁会5か所目のケアホーム(さくら)を西奈良にオープンしたのに続き、今後に必要な地区に必要なケアホームを増やしていけたらと思います。

さくらホームは、現在体験宿泊の方も含め6名の方が生活されています。

内、3名の方がデリカテッセンイーハトーヴに通っていましたが、そのうち1名の方が就労移行を経て、念願の就職をされました。

今年の4月イーハトーヴ内(1階部分)にSORAがオープン。

さくらホームのTさん・Hさんもカフェの接客・厨房の担当として日々責任を持って頑張っておられます。

朝8時30分頃、二人一緒にホームを出発。夕方5時頃帰着。

お客さんの様子やイーハトーヴでの勉強会の事色々聞かせてくれます。また、さくらホームから一般就労されている4名の方の、働く事の苦労話ややりがいも刺激になっているようです。

お二人とも、各ご家庭でご両親の愛情いっぱい育ててこられた方で

ケアホームで暮らすご相談を受けた時、ご本人よりもご両親のほうに寂しいのでは・子離れ大丈夫かな・とスタッフが心配したほどです。

ご本人の可能性を真っ直ぐに見つめ、ご両親の思いをしっかり受け止められる様に日々取り組んでいけたらと思います。



連載コラム 支援スタッフの声

入職して一年・

自分の経験を生かし、チーム結成

平成22年4月入社
木山 実樹

私が在籍する日笠ワークスでは、毎日汗を流し、みんなで協力して木工製品を生み出しています。物づくりを通して、やりがいや達成感、連帯感を感じています。

入職して1年が経ったばかりの私は、まだまだ勉強中で、毎日新たな発見があり、利用者さんに教えられることは嬉しいです。みなさんとても明るく元気で、何度その明るさに助けられたことでしょうか。笑いの絶えない現場が大好きです。



新人として先輩スタッフや利用者みなさんに助けられて早一年。少し余裕が出てきたところで、自分の経験を生かして、青葉仁会でジャンベチームを結成します。ジャンベとは西アフリカの手で叩く太鼓のことです。アフリカの太鼓は地球上で最初に生まれた楽器と言われています。そんなシンブルな打楽器を使って、利用者さんと新たなコミュニケーションをとっていく。今からとても楽しみです。

たくさんの方の前で発表できる日を目指して頑張りますーみなさまも楽しみにしてください！

皆さまお元気ですか

青葉仁会理事長 榊原典俊

忍法、安穩雲隠れの術、免許皆伝の腕前、みなさまには暫くのご無沙汰を頂いておりました。しかしその実、心は小心、ほんとうに皆様方には大変失礼をいたしました。そのことに、先ずもって深いお詫びと反省を申し上げます。

その間、月日も忘れて夢の内でも過ごしていたわけではありません。その実態は昼夜かまわずイライラ、ガミガミと、どこかの首相にも伍して比しないオンリーワン。大なり小なりの憂いに、気がつけば白髪だけが伸びているのか、無くなっているのか、自立支援法下の施設経営の悩みの種はつきません。

夜毎に月と酒への溺れの淵を歩みながらも、池に落ちることもなく過ごせたのは、頭上に響く月光のピアノの調べはよろしく、恍惚プラタースのオンリーユード、やはりオンリーワンは身体によろしくないようです。

それが国家の首相ともなると大変だ、と思わずにはおれません。障害者の手で訴訟になった自立支援法は、実質原告勝利。廃止すると言って約束し、咽もと過ぎれば廃止はするが、その前に完全実施せよと言うものは言いよう。それなら始めから完全実施、と言えばよいものを。しかしこの自立支援法も「つなぎ法」という変な法、障害者福祉は混乱の極みで行方定かではありません。

今年度でこれまでの福祉制度は廃止され、自立支援法全面施行。その先は菅首相のオンリーワンでどうなるかわかりません。先のない孤獨な夜に、私ひとりでも何もないと思える夜は、「何とかなるさ」歌詞はともかくプラタースのオンリーユード、個別支援を聴くことをお勧めします。

さてその間にも青葉仁会にも大きな出来事がありました。それは、新たなレストラン・シヨップ「SORA」が奈良の帝塚山地区にオープンしたこと、そしてもう一つは恒例の青葉仁クラフト展が6月17日から3日間に渡り開催されたことです。新規オープンの「SORA」は今ここに始まったばかりで、これから利用者の方々の力を発揮できるように育てていかねばなりません。皆様のご支援とお力添えを、ひとえにお願いするところです。

そしてもうひとつの最大のできごと。東北大地震の被災地のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

青葉仁会の支援募金活動にご協力いただきました皆様にはお礼もうしあげます。奈良県知的障害者施設協会としていち早く炊き出し支援を行いました。震災直後にもかかわらず新潟まわりで活動に参加してくださいました皆様にも感謝するところです。一日も早い復興を祈つてやみません。

—事務局より—

この度の会報は、お正月のご挨拶をさせていただいて以来の発行となり、お久しぶりとなりましたこと深くお詫び申し上げます。

その間には、デリカテッセン・イーハトーヴ1Fのレストラン「Sora」のオープン、片山右京さん他プロの選手2名に来ていただいたのサイクルイベント「グリーンフェスタ」、そして「てしごとアート展」の開催等があり、すべて報告になってしまいましたこと申し訳ありません。次回は秋に発行を予定しておりますのでよろしくお願い致します。

東日本大震災で被災された方、心よりお見舞い申し上げます。この会報が無事に届きますように。そして少しでも希望のようなものが感じられる会報でありますように。

OPEN



Ihatov Sora

店舗名：デリカテッセン イーハトーヴ Sora(そら)

オープン：平成 23 年 4 月 25 日 (月)

(営業時間 10:00 ~ 19:00)

この度、デリカテッセン イーハトーヴの1階に、軽食のできるカフェと惣菜、各地の美味しいもの、健康にこだわった食品を販売するショップをオープンさせていただきました。

これもひとえに皆様の格別なるお引き立ての賜物と心より感謝申し上げます。これからも職員一同、新たな気持ちで業務に励んでいきたいと思っておりますので、今後も従来以上のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 青葉仁会 デリカテッセン イーハトーヴ

奈良市帝塚山南四丁目 11-14 TEL : 0742-95-7227 FAX : 0742-95-7228

青葉仁会をご支援くださった方々

一口	落合東興	妻野勝	久保素子
	飯田悌孝	東邦子	稲葉忠温
	玉川吉男	桜井正	竹村喜美
	玉川節子	黒田久子	小林誠之
	端本峯子	平住優子	小山喜久雄
	橋本俊博	庄井佳花	中森正嘉
	大野正碩	久保美千子	斉藤和子
	元村可代子	盛田進	岩村修持朗
	松野剛史	清水正一	億田昭太郎
	高橋康広	辻善嗣	億田利雄
	奥村陽人	谷崎賢二	岡崎茂一
	松本陽一	国松寿子	大倉源一郎
	八島昭	高橋政代	大東良史
	成松丞一	渡辺勝美	後藤豊治
	松本美穂子	清水浩	山口芳子
二口	新忠信	田中幹夫	杉本乘明